



2014 年 4 月 20 日

【発行】

東京鶴丸会事務局

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町

2-23 SS ビル 2 階 宗村法律事務所

TEL：03-5298-8281

東京鶴丸会会長：奥 努（29 回卒）

編集責任者：迫 啓子（30 回卒）

今年も皆で笑って語って楽しみましょう

東京鶴丸会会長代行 千田 朋介（31 回卒）

皆さま、こんにちは。春の選抜高校野球の開会式で現役の鶴丸生の遠矢さんが司会をされていたのをお気づきになりましたか？後輩の活躍は嬉しいですね。そして今年のもう一つの楽しみが6月の総会・懇親会。皆さまにお会いできるのを本当に楽しみにしています。なお、

と実感しています。次期の理事の皆さまにはより一層の会の隆盛を託したいと考えています。

前回の総会でご案内したように7月から奥会長がニューヨークに赴任されているため、このご挨拶を含め千田朋介（31 回卒）が代行を務めさせていただきます。

さて、総会・懇親会以外のこの1年間の東京鶴丸会の活動を振り返ってみますと、5月19日の渋谷おはら祭りでは鶴丸連は踊り手41人とボランティア8人の合わせて49人が参加し、鹿児島県知事賞受賞の名誉に輝きました。私も拝見しておりましたが、見事に揃った踊りでした。

18名の社会人にご参加いただき、昼はセミナーとQA懇談会、夜は懇親会と充実したものになりました。休日にも拘わらず参加して下さった社会人の皆さま、ありがとうございます。

これは諸活動の詳細についてはホームページにも写真入りで掲載されていますので、ぜひご覧ください

東京鶴丸会理事の任期は3年となっていますので、今年の総会で新しい理事会にバトンタッチいたします。振り返ってみますと毎年の総会・懇親会の実施に加え、例年の活動、新ホームページの立ち上げ、はろぼろと60周年記念事業への参画、とあ

6月29日の第5回ゴルフ会では27名のみなさんにご参加いただき、世代を超えた交流が出来た楽しい一日となりました。

今年は総会・懇親会の会場が変わります。過去5回お世話になった目黒雅叙園様には格別なご配慮をいただいております。この場をお借りしてお礼申し上げます。今年の会場は品川駅高輪口から至近の「TKPガーデンシティ品川」となりました。幹事の35回卒の皆さん方が広さ、費用、交通の利便性、そして着席にこだわって探してくれました。ご自身にとっては最初で最後の幹事学年を一生懸命やっております。参加されるみなさんも新しい気持ちで新しい会場での変わらぬ友情を確かめ合ってください。皆さまと6月28日にお会い出来るのを楽しみにしています。

就活生のためのセミナー「鶴ナビ」は6回目を数え、10月5日に開催しました。33名の学生と

10月 鶴ナビ開催

1月 世話人会（幹事学年 35 回卒）

4月 会報第17号（本誌）発行

東京鶴丸会 最近の主な活動

1月 第1回世話人会（幹事学年 34 回卒）

4月 第2回世話人会
・新人歓迎会開催
・会報第16号発行

5月 渋谷・鹿児島おはら祭り
東京鶴丸連が出場

6月 第47回総会・懇親会開催
・第5回ゴルフコンペ開催

7月 GO 鶴セミナー開催

10月 鶴ナビ開催

1月 世話人会（幹事学年 35 回卒）

4月 会報第17号（本誌）発行

「はろばろと」六十周年記念事業 完了報告

鶴丸の重要な教育資産として永遠の使命を担って

校歌「はろばろと」の制定六十周年を記念し、多くの鶴丸生のご協力のもと、東京鶴丸会が精魂を込め2012年に制作したDVD「今こそ伝えよう!! はろばろと誕生物語」は、現役学生から各年代の同窓生まで多くの方々の賛助を頂きました。その結果、この一年半の間に約1600名の鶴丸生にお届けすることができました。

その最終幕として、記念事業

実行委員会は、鶴丸高校にDVD350セットとその版權を寄贈しました。贈呈式は、

2014年3月3日 第65回目の卒業式が終わった午後、鶴丸高校校長室で執り行われました。東京鶴丸会会長 奥努が海外勤務中のため、代理として、この記念事業の企画提案者である上原克彦氏(6回卒)が出席しました。



目録

- 一、はろばろと誕生物語DVD完成品 三三〇セット
- 一、はろばろと誕生物語DVD 改訂版權 DVD制作資料一式含む
- 一、郡山正先生、中馬幸子先生資料一式
- 一、教育振興基金 金額 十五万三千六百八十円

右、校歌制定六十周年事業を記念してお贈り申し上げます

平成二六年三月二日

東京鶴丸会

会長 奥努

鹿児島県立鶴丸高等学校校長 校長 大平 和男 殿

DVDの他にも、賛助金から制作費等を差し引いた全額を鶴丸高校教育振興基金拠金として、またこの期間収集された校歌誕生にまつわる貴重な資料なども贈呈しました。

この贈呈を機に、このDVDは鶴丸高校が存続する限り永遠に歌い続けられる「はろばろと」の持つ偉大な歴史を解説する貴重な教育資産になることと思います。

(写真

右 大平和男 校長
中 会長代理 上原克彦氏
左 立会人 玉川哲生氏)

大平校長からは、「東京鶴丸会の皆様へこのたびは、記念DVD又多

額の現金の寄贈まで頂き感謝申し上げます。また郡山先生、中馬先生関係の貴重な資料も頂きました。大切に保管するとともに、生徒たちの教育に役立てたいと思います。企画から5年間の歳月をかけて事業を完遂なさった皆様のご努力に敬意を表し、心から感謝申し上げます。今後ともよろしくお願いいたします。」との謝辞が述べられました。

また、中馬幸子先生からも、このはろばろと制定60周年記念事業に関して談話が寄せられました。要旨は次の通りです。

「作詞者 郡山正先生はこの5月には100歳、私は85歳という高齢者。ともに校歌制定後60年を経てこの行事に出会えて幸福です。

人間で言えば還暦にあたる60歳を祝われた幸福な校歌は世界広し、といえども、鶴丸校歌をおいてほかにないでしょう。この非常に珍しい行事を企画し実現した東京鶴丸会OBの企画力、実現能力に心から敬意と謝意を表します。」

2014年3月

「はろばろと」六十周年記念事業実行委員会

第47回東京鶴丸会会計報告 2012(平成24)年8月1日～2013(平成25)年7月31日

支出		収入	
摘要	金額(円)	摘要	金額(円)
		前年度繰越 ①	2,482,276
本部会計(会報・同窓会総会案内・本部活動に関するもの)			
第47回総会案内印刷費	379,528	年会費	1,591,080
〃 通信費	336,730	受取利息	332
〃 世話人会関連費	119,185	「はろばろと」60周年記念事業	1,804,328
〃 振替手数料他	101,930		
「はろばろと」印刷費	88,400		
ご祝儀(渋谷おはら祭)	40,000		
鹿児島総会	24,000		
ホームページ作成、運営費	112,560		
理事会運営費	32,746		
鶴ナビ運営費	74,265		
通信費・振込手数料他	5,040		
計	1,314,384	計	3,395,740
		本部会計収支差額 ②	2,081,356
幹事学年会計(同窓会総会に関するもの)			
第47回総会会場費	4,522,706	第47回総会会費	3,898,000
〃 運営費	204,244	〃 祝金・寄付金	418,000
〃 プログラム・企画制作費	399,518	〃 広告収入	460,000
〃 幹事会等諸費	100,935	〃 受取利息	127
〃 新卒生親睦会費	66,360		
計	5,293,763	計	4,776,127
		幹事会計収支差額 ③	(517,636)
		次年度繰越 (①+②+③)	4,045,996

東京鶴丸会の伝統に「感謝」

第四十七回 東京鶴丸会総会・懇親会 実行委員長

2013年……この1年間は、私自身の人生の中でも忘れられない1年になりました。約32年前、故郷鹿児島を離れて上京し、故郷を語れず自分を語れず、夢を語れず、ただただ無学さを痛感し。海外へ出て日本を語れず、その度に自分自身を知ることで啓発されまくった20代。時代に後押しされ背伸びができた30代。時代に逆らい闘い、無理をした40代。正直、狭く小さい世界で少し、くたびれかけていた私に34回卒業年世話人という任の依頼が鹿児島同窓会幹事の吉岡くんからありました。ちょうど幹事年度を迎える5年前です。その席上となった「えん(宴)」は15名ぐらいのプチ同窓会で、私は高校卒業以来、初めて参加した「同窓会」、約25年ぶりの友との再会でした。今時の言葉で表現すると、超癒されました。この「癒し

の時」が任を受けるきっかけになりました。幸せなことに、それまでもたくさんの友達や親友に恵まれたけれど、それでもやっぱり一番多感な時代に鶴丸高校という同じ環境で切磋

琢磨した友は特別で、本当に癒されるし、落ち着くし、楽しいし、失いつつあった刺激的な(啓発してくれる)存在だと気づかされました。

2012年9月……33回卒の先輩方から幹事年度の引継ぎをさせて頂いてから、本格的に総会・懇親会の準備のための実行委員会が立ち上がるわけですが……名簿班(世話人お世話

隊)、企画班、広報班、会計班、会場班、事務局と役割分担を決めてからは、「すばらしい」準備振りで、当初は20名足らずだった実行委員メンバーも毎月1回の全体打合せに、1人増え2人増え、気がつけば、あつという間に常時50数名が集まるようになっていました。各学年の先輩後輩方と幅広い交流をさせて頂きながら「名簿」の充実を目指し、「こけ今夏

(koke conka)」をテーマに掲げ、総会史上初めての鶴丸高校からの生中継をメインに「企画」し、第2回世話人会「新人歓迎会」では大雨の中「会場」までの道案内役を務めたり、プールの仕事かと疑いたくなるよう

宮原 義久(34回卒)

な「広報」を兼ねた案内状の作成等々……。高校時代絡みがなかった人やしゃべったこともない人と30年を経て再会し改めて挨拶を交わし、その友人の人生観、仕事観、家族観等も聞いたり感じたり、刺激を受けたりしながらの9ヶ月間、前日の深夜まで総会・懇親会に向けての準備が続きしました。

2013年6月22日、前日までの台風の心配がうそのような快晴にも恵まれ、総会・懇親



校歌斉唱

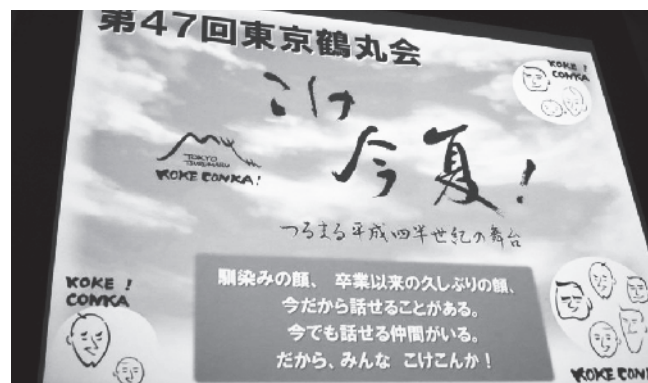
会は盛会のうちに終わり、幹事団としての任を無事終えることができました。当日は、鹿児島から22名、遠くは赴任先の北京から総勢108名の同期が、30年ぶりの再会……縁の復活を果たすことができました。会の最後に日本一の校歌「はろばろと」を来場の先輩後輩方々と肩を組み合い斉唱しきった時の高揚感、達成感は表現のしようがありません。

いついまでも、切磋琢磨できる「FORTHERS」の精神が宿った仲間がいることへの誇りを大切にして、この一年間の経験と感動を一人でも多く後輩諸氏にも伝えていけるよう願っております。

最後になりましたが、総会実施に多大なるご尽力を賜りました大平校長、蔵元先生、脇田先生、新福先生、鹿児島鶴丸会の方々、33回卒の先輩方をはじめとする世話人の皆様方、そしてこの素敵な1年を授けて頂いた東京鶴丸会の伝統を築いてこられた先輩方すべての方々に深く感謝致します。ありがとうございました。



幹事学年 34 回卒



総会テーマ「こけ今夏 (koke conka)」

GO鶴セミナー 昨年49事業所 生徒受け入れ 今年は7月17日(木)



2013年GO鶴セミナーには卒業生の49事業所が参加、7月18日、修学旅行中の2年生300名余をそれぞれの職場にお受け入れ頂きました。CSR(企業の社会的責任)推進活動の一環として積極的に受け入れ頂ける事業所も増えてきています。本年10回目を迎える鶴丸の恒例行事に、より多くの卒業生のご参加、ご協力をお願いします。

昨年参加した生徒から以下の感想が聞かれました(一部掲載)。

・下準備から始まり、交通機関の利用、初対面の大人の方々との交流、それらの体験をした今、私たちの視界は広くなり一回り成長できたので

はないかと思う。

・将来の可能性を広げられるように今のうちから積極的に様々なことに取り組むべきだと痛感しました。

・私たちの知っている世界はまだまだほんのわずかであるということとを気づかされ、さらにその世界が何倍にも広がったような経験をすることができました。

・初めて企業というものを垣間見ることが出来、そこには熱意ややりがい、そして大変厳しい競争があることを知った。この経験を胸に、今後の私達の進路選択、自己実現をしていきたい。

・先輩方は能力的にも人間的にも本当に優れている方々ばかりで、将来は先輩方のような人間になりたいと思いました。

また卒業生の皆さんも以下のような感想をお寄せ頂きました(一部掲載)。

・準備段階で鶴丸出身者が社内であらたにすることがわかり、嬉しい瞬間でした。

・鶴丸生と話が出来る事は私たちも元気をもらいます。職場の同僚も喜んでおります。

・鶴丸高校の生徒はすばらしいなあ...とあらためて思いました。まっすぐに伸びていってほしい!

・「GO鶴セミナー」が鶴丸のよき伝統になるよう今後も継続して頂きたいです。

・自分の学生時代を振り返ったり、現在の仕事を見つめ直したりと個人的にもよい機会となっておりま。

今年のセミナーは7月17日(木)午前中に開催予定。お受け入れ頂ける事業所様は、5月8日(木)までに、東京鶴丸会ホームページ理事会コーナーの「事務局へのお問い合わせ」フォームから参加お申し込み下さい。都心立地上、例年生徒割合に比較し理系生徒向きの職場が少ないようですので、理系卒業生の事業所(工場、研究所などの郊外立地、都心の本社、病院など含む)も奮ってご応募下さい。



2013 年受け入れ事業所(五十音順)

1. 青山耳鼻咽喉科
2. あさひ法律事務所
3. Amazon Japan
4. アリアンツ火災海上保険株式会社
5. イーピーエス株式会社
6. 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
7. ユーザイ株式会社
8. NTT コムウェア株式会社
9. 株式会社 OKI プロサーブ
10. キャノン株式会社
11. 空想科学研究所
12. 高エネルギー加速器研究機構
13. 厚生労働省医政局
14. 國學院大學経済学部
15. 国土交通省航空局
16. 株式会社コスモスイニシア
17. 五洋建設株式会社
18. 有限会社ザ・ライトスタッフオフィス
19. JX 日鉱日石エネルギー株式会社
20. 清水建設株式会社
21. 順天堂大学医学部附属病院
22. 宗村法律事務所
23. ソネットエンタテインメント株式会社
24. 大成建設株式会社
25. 中外製薬株式会社
26. 帝京大学医学部附属病院
27. 株式会社電通
28. 東京エレクトロン株式会社
29. 東洋エンジニアリング株式会社
30. 東レ・ダウコーニング株式会社
31. 徳重公認会計士事務所 / FC KAGOSHIMA
32. 長島・大野・常松法律事務所
33. 株式会社日建設計
34. 日本アイ・ビー・エム株式会社
35. 財団法人日本海事協会
36. 日本航空株式会社
37. 日本電気株式会社
38. 農林中央金庫
39. 野村證券株式会社
40. 株式会社日立製作所
41. 一橋大学経済学研究科
42. 富士通フロンテック株式会社
43. 株式会社ラーズ / 株式会社ベネッセコーポレーション
44. 株式会社翻訳センター
45. 三井記念病院
46. 三菱東京 UFJ 銀行
47. 明治大学理工学部
48. 森・濱田松本法律事務所
49. 税理士法人山田&パートナーズ

就職活動を開始する大学生、大学院生のみなさんへ 就職活動支援セミナー『鶴ナビ2014』を今秋開催します！

これまでの自分の人生を振り返り、今後の人生を考える、就職活動。

大きな不安とともに活動している大学生、大学院生のみなさんも多いことと思います。

東京鶴丸会では、そんな方々を強力にサポートします！

各界で活躍する鶴丸のOB、OGの協力の下、就職活動中の方を対象にしたセミナー『鶴ナビ』を2009年からスタート致しました。



鶴丸38回卒で、就職対策の専門学校で講師を務めている角倉裕之さんの講演や、企業の最前線で活躍されている先輩諸氏が業界別にテーブルに



分かれて学生と話をするプログラムなど、就職活動をする学生にとって非常に貴重な場になると思います。

昨年は、10月5日(土)に開催。33名の学生と、18名の社会人が参加。大学1、2年生の参加も目立ちました。

また、同じような年齢の子供を持つOB、OGにとっても、最新の就職活動対策が盛り込まれた角倉さんの講義は、熱心に耳を傾ける内容となりました。

昨年の参加者からは、「様々な業界の先輩から各業界の話聞いたのが非常にた

めになった。」

「様々なリアルな話を聞いて、モチベーションも上がりました。就職活動の良いスタートが切れました。」

「今まであまり関心のなかった業界にも新たな発見があり、興味を持てました。今後の参考にしたいです。」

「単に仕事の話だけでなく、人生論も聞けて、今後の自分の人生への参考になりました。後輩にも参加を勧めたい。」

(参加者アンケートより抜粋) と言った声をいただき、大変好評でした。

そして『鶴ナビ』は、過去6回の実施を経て、当時学生だった人が今度は社会人として協力、参加しています。

7回目となる今年も、秋(10月頃)の開催を予定しています。詳細は東京鶴丸会のホームページで、8月上旬頃ご案内致します。また、6月28日(土)の東京鶴丸会総会の会場でも、案内チラシの配布や参加の申し込み受付を行います。

この「鶴丸愛」が溢れた会場で、今年もみなさんをお待ちしております！

東京鶴丸会ゴルフコンペに関して

2013年のコンペは、第5回大会でした。総会一週間後の6月29日(土)に、静岡県大熱海国際ゴルフクラブにて開催され、男女合わせて27名の方に参加していただきました。梅雨の合間にも関わらず好天にも恵まれました。みなさん競技というよりも、鶴丸高校のOBOGという太いつながりから来る温かい雰囲気を楽しんでいた、そんなコンペでした。開催場所が伊豆半島という事もあり、前夜祭に参加された方も多かったようです。

結果は、優勝 田中和義さん(26回卒)、準優勝 千田朋介さん(31回卒)、3位 福丸玲子さん(24回卒)、以上の皆さんでした。

さて今年度のコンペは11月上旬頃に開催予定ですが、詳細が決定次第ホームページ上でご案内するとともに、総会懇親会の時に会場にてチラシを配布させていただきます。

お申込み、お問合せ等につきましては下記メールアドレスまで。
te818526@gmail.com 担当 榎田卓央(32回卒)

皆様の多数のご参加お待ちしております。

申込締め切りは**9月30日、先着順**とさせていただきますので、何卒ご了承をお願いします。

第17回 渋谷・鹿児島おはら祭



2014年 5月18日(日) 12:50~16:00
渋谷 道元坂・文化村通りにて開催！

東京鶴丸連は、昨年出場した渋谷おはら祭で、見事、鹿児島県知事賞を受賞しました。このような素晴らしい賞をいただけたのは、皆様の御支援のおかげです！ありがとうございます。今年も入賞を目指して頑張ります。ぜひ、応援にいらしてください！踊り手の参加も大募集しています。

詳しくは・・・ **東京鶴丸連** **検索**

甲突の水で椅子を清め、新たな学び舎へ

第16回生 荻野 広己さん

第16回生 関 一久さん

第17回生 圓山 節子さんに伺う

過去二回にわたり、鶴丸の設立当初から校歌誕生時までを辿ってきた。三回目となる今回は、加治屋町と薬師町の二つの校舎にて高校生生活を経験された、第16回生の荻野広己さんと関一久さん、第17回生の圓山節子さんの3名にお話を伺った。

日本が高度経済成長の真只中にいた1964（S39）年10月に東京オリンピックが開催された。国中が熱狂の渦に包み込まれる中、オリンピックは当時の鶴丸生にとっても忘



（左から）荻野さん、関さん、圓山さん

れ難い出来事であった。ギリシャのオリンピックで採火された聖火は欧州、アジア各国を経由し沖縄に到着した後の9月9日、鴨池にあった鹿児島空港に到着した。県を挙げての大歓迎ムードの中、市内の高校2年生の女子生徒がマスコットゲームを演じ歓迎した。また、鶴丸生による聖火ランナー隊が市内の聖火リレーに参加し、その他の生徒も沿道で旗を振りながら応援をした。鶴丸の体育館はバレーボールの日本男子チームの合宿所となり、「その技術の高さに圧倒された。」

設立より15年間、加治屋町の校舎（現中央高校）を学び舎としてきた鶴丸は、オリンピックの約半年前の3月26日、薬師町に完成した新校舎へ引越しをすることとなった。机はトラックで搬送されたが、椅子は生徒が各自で運んだ。途中、甲突川に入って椅子を洗い清め、新たな気持ちで新校舎に持ち込んだ学生も多くいたという。ところが、この日は2年生女子の多くが修学旅行へ行っており、引越作業を手伝っていた女子は少数であった。「京都・奈良で、教科書で学んだ歴史的な事物をこの目で見た感動が忘れられない。」女子だけの修学旅行は、

女性の結婚年齢がとても若かった当時の女子生徒への配慮によるものらしい。

新旧二つの校舎に関し、「重厚でレトロな加治屋町校舎の思い出の方が強い」と、お三方とも口を揃える。この校舎は県吏員建築設計技師岩下松雄氏の設計により、1935（S10）年に旧一高女の校舎として建設され、現在は国の登録有形文化財に指定されている。円形の正面玄関が特徴的な美しい趣のある建物である。講堂と体育館は別々にあり、講堂の上の階にはピアノが設置された音楽練習室が6部屋もあった。

校舎に囲まれた中庭に白いタイル張りの美しいプールがあり、「授業中に窓際の席から女子が泳いでいるのを見るのが男子の楽しみだった」「映画の宣伝で鹿児島に来た大女優がオープンカーに乗って走るの何回も見たと授業中のよそ見が得意だった某氏。文化祭もクラス対抗で、ジャズのバンドがでたり、『ベニスの商人』のシャロロックやつたが台詞覚えてなくてドベになったよ」と苦笑。加治屋町校舎は200メートルも歩けば、すぐ繁華街で、「ときどき学校を抜け出してナポリ座とか南映で映画を見て、また授業にもどったりしてた」と自由闊達な気風が伺える。「学校の帰りに喫茶店の『青柳』や『三リーゼ』に寄り道してお茶したり勉強したりしていた。繁華街に補導員が待ち構えているのだが、『鶴丸の帽子をか

ぶっていると補導されることはなかった」という。どうやら当時の鶴丸生に対する人々の信頼は高かったようである。

先生や授業についての記憶は、「剣道の九州大会に行く直前に池江校長が部員を校長室に招き笑顔で激励なさった。学校移転でお悩みの最中であつたろう。私達の見た最後のお姿だった」「英語の3分間テストの結果が悪いと床に正座させられた」「数学の先生にラッフルで頭をはたかれるたびに、坊主頭がチョークの粉で真っ白になり水道で洗っていた」「大学生向けの政治経済の授業、ありや無理だったね誰にも」と先生方は愛を持って厳しい指導をしておられた。

さて、多くの方々の方々の尽力により複雑な事情を乗り越えて移転した薬師町新校舎については、「真新しい校舎が誇らしかった」「前校舎に比べ非常に明るい校舎だったので、気持ちが開放的になった」「マスオさん状態から抜け出せるという喜びが大きかった」という。その年からだね、鶴丸の成績がぐーっと飛躍したのは。移転にまつわる深い想いに応えようとした生徒の気持ちと先生方の意気込みがうかがえる。

新校舎に移ってからの記憶で、まず思い出すのは、「体育の授業といえど、校庭の整備作業ばかりしていた」と。荒れていた校庭から草の根株を取り除き、石を掘り出して、「竹もっこ」（竹が四角の板状に編まれ石や土を乗せて運ぶ

用具）で運び出すという作業を全校生徒が繰り返し行っていた。また、殺風景な校内を彩るために、「先生と生徒が一丸となつて季節にそつた花を育て、花壇を作り上げていった」。校内環境の整備美化に多大な努力をされた先輩方に心から感謝します。

16回生が3年生の時の体育祭は校庭整備が完了しておらず、鴨池の県立競技場で行われた。「人数に対して競技場があまりにも広くて寂しかったけど、フォークダンスで女の子の手を握るだけでドキドキした」と純情な鶴丸男子。「体育祭の後、17回生女子だけのグループがボートで鴨池の海に漕ぎ出すという冒険をしたのだけれども、帰宅後に親から怒られた友人もいて（苦笑）」と勇敢な鶴丸女子。

1965（S40）年6月、待望の体育館が完成したが、残念ながら16回生の卒業式には間にあわず、西田小学校で行われた。翌年2月、新体育館で初めての卒業式が行われ、17回生が新たな道に向け巣立つこととなった。

最後に東京鶴丸会について、「この会の意義は、さまざまな先輩後輩が親しく語れることでしよう。だから『幹事学年は幹事が終わっても鶴丸会を卒業するな』、『世話人は知らない誰かを誰かに紹介する者として良きホスト役であって欲しい』と願っています。」